公表　保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日　2026　年　3月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　熊谷 教室

保護者等数(児童数)　12名　回収数　10件(割合83%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0	そう思う。	職員1人につき児童2人の配置を意識しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	1		教室や備品は必ず清掃および消毒を行っております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0	こどもの特性を理解していると感じる。	子ども1人ひとりの課題にあわせた支援を探しながら、ともに成長していけたらと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	10	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	1	子どもに必要な課題を理解してくれている。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0	その日にやった活動を話してくれる。	5領域や児童を意識したプログラムを提供しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	0	2	1		今後も地域のイベントには積極的に参加したいと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0	丁寧な説明だった。	保護者様の不安を少しでも取り除くことが出来るよう対応いたします。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		安心して通っていただけるよう分かりやすい説明を心掛けています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	2	1		研修の機会も今後検討して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		ご相談等はお気軽にご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	0	2	1		保護者間の交流に関しまして、希望されるご意見と希望されないご意見がございますので、慎重に検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	1	そう思う。	お電話、アプリ、対面等にて受け付けております。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	1		お便り・アプリ・ブログ等で活動内容を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	1		鍵付きの書庫にて保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	1		各マニュアルを事務所に置き、契約時に研修の状況をお伝えしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	2		連絡帳やお便りで訓練実施の報告をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	9	0	0	1		教室内での活動だけでなく、送迎時も含めて安心・安全を最優先して支援の提供を行って参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	1	事故はないが、ケガをした時はその日のうちに知らせてくれる。	万が一の事故やケガが発生した際の対応方法を職員間で共有しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		送迎も含め、安心・安全を最優先して支援の提供を行って参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0	いつも楽しみにしている。	楽しく利用していただける様に今後も努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		児童や保護者様に満足して利用していただけるような支援を提供できるように今後も努めて参ります。

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日　2026　年　3月　20日

事業所名　こばんはうすさくら　熊谷 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	体を大きく動かすプログラムの際は部屋を分けて対応している。	児童発達の児童と同じ部屋を利用するときは体格差による接触事故や安全面への配慮が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	2	1人の職員につき児童２人の配置できるようなシフトを組んでいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	児童1人ひとりのロッカーがある。また、1日のスケジュールや当日いる児童・職員の名前、声の大きさ等、可視化にも力を入れている。	落ちつけるスペースが少ない為、空いている部屋や廊下を利用して空間の確保を保っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	毎日掃除・消毒を行い感染症にも気を付けている。	加湿器があると良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	3	使用していない部屋や廊下に出るなどして対応している。	静養室があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	申し送りや会議の場で参画する機会が多くある。	当日出勤していない職員も参画できる場や手段があると良い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	前回の内容を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	申し送りや定期的な支援会議、個別面談等で情報共有をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	5		第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	Zoomによる定期的な研修や動画配信のほか、外部の研修・講習会に参加する機会もある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	各職員が得意な活動（5領域）、各児童の課題を意識し作成。アプリやお便りで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	申し送りや支援会議の場に限らず、気づいたことや感じたことをすぐに共有できるようにしてる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	1	現場の直接処遇職員の意見を尊重し、検討したうえで個別支援計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	12	1	個別ファイル、アプリは営業時間内であればいつでも確認できるようにしている。	直接処遇職員が、さらに計画書に沿った支援を意識できると良い。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	3	支援計画の目標を軸に、日々の行動や園・ご家庭からの情報も職員で共有し合い対応している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	3	家族支援を行う意味、地域連携の必要性もふまえ、5領域に沿った本人支援を明確に設定している。	ガイドラインの要点も、各自目に触れておく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	職員それぞれ得意不得意があるため、案が偏らないよう全職員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	毎月プログラム案を出し、案はすべて保管している。 人気のプログラムは定期的に実施。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	支援時間内に可能な範囲で組み合わせている。	個別にももう少し力を入れていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	2	ミーティングに参加できない職員が出るため、ホワイトボードを活用している。	送迎の時間によって朝ミーティングができない事がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	3	必要な情報はラインワークスを使い情報の共有を行っている。	ラインワークのみだと確認していない・知らなかった、といったトラブルも多い。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	連絡帳のほか、その日の児童の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	保護者や園のご意見も参考に、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	13	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	1	道具・おやつのメニュー表を活用。発語が難しい児童のためにイラストや写真を見て選べるようにしている。	対応する職員でわずかに差が生じる事もある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	管理者、児発管が対応している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	緊急連絡先を伝えている。また事前に保護者から下校時間の共有を頂いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	0	必要に応じて情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	2		現状該当者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	10	3	地域の研修会に参加している。	広く職員が受けられる機会があるとより良いと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	6		今後検討が必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	4	市の支援協議会、主催の研修に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	送迎時にお時間を頂き活動中の様子を共有し、それを改めて職員間でも共有するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	2	送迎時に相談を受けた際には「ご家庭でもやってみてください」といった形で提案をしている。	事業所が主催する研修の機会は設けていない為、今後検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	契約時の説明とは別に、アプリを使い毎月の支援プログラムについての説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	児発管、管理者メインで面談を行い児童と保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	12	1	定期的な面談の場での説明。計画書に沿って説明をし、質問等はいつでも回答できる体制をとっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	送迎時のほかにも電話連絡と、必要に応じて計画書作成以外でも面談の日程を組むよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	8		父母会を望まない声もいただいているため慎重に検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	相談があった際は管理者へ報告、必要であれば全体へ周知(LINEworks)という体制をとっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	連絡帳を活用し個別にお写真を添付するほか、ブログやお便りを活用し発信している。	ブログもより力を入れていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	鍵付きの書庫に保管している。保護者へ渡すものはダブルチェックを行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	充分に配慮している。	各職員の意識の向上のため研修があってもいいと感じる。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	9		事業所側でイベントを開催する事が困難な体制ではあるが地域イベント・交流の場を今後も増やしていきたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	2	マニュアルは全て事務所に掲示し、訓練に参加できなかった職員も確認できるよう保管している。	各職員が計画書を確認しておく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	2	策定は完了し、訓練も行っている。	各職員が意識的に資料を確認する必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	契約時に確認と、服薬依頼書をお渡ししている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	契約時にアレルギーの有無を確認している。	医師の指示書の提出は求めていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	3	安全計画は毎月の研修・訓練内容も含め作成したものを事務所に保管しいている。	各職員が計画書を確認し理解を深めておく必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	10	3	危険回避ができるよう事前にどういう可能性があるか確認・把握をしたうえで安全計画を作成している。	各職員が計画書を確認しておく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	事業内での共有は出来ている。	全職員が意識を高く持ち、再発防止に向けた取組を行っていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	2	虐待防止や感染症対策といった研修が定期的に開かれている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1	定期的に研修が開かれている。契約書にも身体拘束について記載し、説明を行っている。	他事業所との事例検討会といった意見交換の場があるとより良く感じる。